

謹 賀 新 年

平素はご無沙汰しておりますが、皆様お変わりございませんか。私どもは年齢相応ないろいろなことが、やって参りますが、何とか平穩に新しい年を迎えることができました。

いざなぎ景気をしのぐとかで景気は回復しているといいますが、庶民にとっては実感が無く、少年の自殺、隣国の核実験、わが国の核の話、教育基本法の改正など問題が次から次へとやってきます。いろいろな立場の人々が本気で取り組み、明るい未来につながってゆく様に切に願っております。

私は研究室の方々の好意によって毎日、大学に出かけております。2年掛かりで坂井悦郎先生と編集させていただいた「新セメント・コンクリート用混和材料」が、本年1月末に技術書院から出版の運びとなりました。これも皆様方のおかげと感謝しております。これからもよろしく願います。(芳夫)

昨年はお世話になりました。新しい年を迎え皆様のご健康とご幸福を心よりお祈り申し上げます。(則子)

平成 19 (2007) 年 元旦

〒274 千葉県船橋市二宮 2-6-10
笠井 芳夫・則子

謹 賀 新 年

平素はご無沙汰しておりますが、皆様お変わりありませんか。私共は年令相応にいろいろなことがあります。毎日をなんとか送らせていただいております。

さて、昨年は参議院選挙における民主党の勝利が安部内閣崩壊の引金となり、福田内閣が誕生しました。衆参両院のねじれの結果は「テロ特措法」による米軍艦船への給油ができなくなり、対応に追われています。年金の5000万人不明問題はこれからでしょう。

構造偽装問題は直接被害者はもとより、審査の厳格化により許認可が遅れ、建設業者はもとより、建材メーカー、運送業者など仕事が減って大変なようです。原油の高騰は私たちの生活に直接響いてきました。米国のプライムローンのこげつきが世界中の株安を引起こすというような時代になりました。

11月には中国・西安で「日本の開放しコンクリート」について講演してきました。2年振りに訪れた西安は建設ラッシュでおどろきました。

今年は明るい話題の多い年となりますように祈っております。これからもよろしく願います。(芳夫)

昨年はお世話になりました。新しい年を迎え皆様のご健康とご幸福を心よりお祈り申し上げます。(則子)

平成 20 (2008) 年 元旦

〒274 千葉県船橋市二宮 2-6-10
笠井 芳夫・則子

謹 賀 新 年

平素はご無沙汰しておりますが、お変わりありませんか、私は昨年4月80才になりましたが、毎日、大学に通っております。これは研究室の皆様の計らいによるもので、ありがたく思っております。

昨年4月、中国広州市と深圳大学で「日本の高強度コンクリート」の話をしてきました。

昨年の米国起原サブプライムローンの破綻による世界大恐慌は、金融工学なるとんでもない虚業を放っておいたつけでしょう。北京のオリンピック、岩手・宮城内陸地震、我国首相のたび重なる交替、次期米国大統領にオバマ氏が当選するなどいろいろなことがありました。これから日本は、世界は、どうなるのか良い方へ「変」つていくことを願っております。

これからもよろしく願います。 (芳夫)

昨年は本当にお世話になりました。足が悪くなり週一度デイサービスに行って体操などしております。病を抱え頑張っている方々にお逢いして教えられることが多く、改めて生かされていることの重さを深く思い感謝しながら今年も歩んでゆきたいと思っております。

本年も宜しく願ひ申し上げます。 (則子)

2009年 元旦

〒274-0823 船橋市二宮 2-6-10
笠井 芳夫・則子

謹 賀 新 年

平素はご無沙汰しておりますが、皆様お変わりありませんか。私共は年令相応にいろいろなことがありますが、なんとか毎日を過しております。

さて昨年は、8月の衆議院の選挙で民主党が政権をとり、鳩山内閣が誕生しました。国民はその政治に目を凝らし、見守っているところです。米国のオバマ大統領が核軍縮を宣言し、ノーベル平和賞を受賞されました。核のない世界平和が実現するよう、切に願っております。

私事ながら、昨年6月、教育業績「建築材料およびコンクリートの教育に関する長年の貢献」として、日本建築学会の教育賞を受賞し、11月には、秋の叙勲において「端室中綬章」をいただきました。身に余る光栄であります。これも皆様の長年にわたる暖かいご支援によるものと感謝しております。

これからは健康に心がけ、身の丈に合った出来ることをやってゆきたいと思っておりますので、よろしく願ひ申し上げます。 (芳夫)

昨年はいろいろとお世話になりました。皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。本年もどうぞ宜しく願ひ申し上げます。 (則子)

2010年 元旦

〒274-0828 船橋市二宮 2-6-10
笠井芳夫・則子

結婚式御招待状

謹啓 風香り新緑日毎に深まる候と相成りました
貴方様にはますます御清榮のことと拝察申しあげます
このたび笠井保一 四男芳夫と柳川みどり 次女則子とが森徹様御夫妻の媒酌に依り華燭の典を
舉げることに相成りました

御多忙中のことと存じますがぜひ御来駕下されます様御願ひ申しあげます 敬具

記

式場 港区麻布本村町一〇六 ホテル藤 (電話(45)八三〇一~三)

日時 昭和三十三年五月十八日 (日曜日) 時

昭和三十三年五月吉日

山梨県西八代郡六郷町鴨狩津向八〇三

笠井 保一

東京都品川区東中延二ノ四二八

柳川 みどり

尚準備の都合がございますので御出席の有無を同封の葉書にて五月十四日までに御知らせ頂ければ幸甚と存じます

服装は平服にてお願い申しあげます

誓 約

生きとし生けるもの、全てその生を謳歌する五月のこの佳き日に、皆様の祝福を受けてここに私共二人の生涯の契の式を挙げる事が出来ましたことは、限りない神の御恵と御意思と感じて、ここに深い祈りを捧げます。

今日の佳き日を迎えることが出来ましたのも、私達をここまで育てあげて下さいました父母の慈を始めとし、近しい皆様方の御励まし御協力、更にはこの華燭の典を挙げることに御援助と御助言を賜れました森先生御夫妻、松井先生御夫妻に心から感謝いたします。

これから二人の前途には計りしれない多くの苦しいことや悲しいこと、心の重荷、齒をくいしばって耐えなければならない困難なことが待ちうけていることとせう。

しかし、今日の喜びと純粋さを心の支えとして毎日を真心を以って生活し、皆様が築きあげた様な立派な家庭を二人の努力合いと励まし合いと協力によって築いて、今日まで私共の祖先が作りあげた文化的遺産を更に輝かしきものとして、次に来る人々に伝えるためのささやかな努力を続け、この社会を明るくしてゆくための鎖の一つとなり、そして長い間の風雨によって鍛えられ、年と共に美しい光と錆が滲みでてくる様な鎖に磨きあげてゆきませうと固く心に誓っております。

昭和三十三年五月十八日

媒酌人 森 徹様

奥 様

笠井 芳夫

柳川 則子

年 賀 状



結婚式 (1953.05.18)



叙勲：瑞宝中綬賞 (2009.11.03)

(7) 経歴・発表論文一覧

笠井芳夫経歴	…182
表 彰	…183
学協会等の役員・委員歴	…184
工学博士学位論文審査一覧	…188
編著書一覧	…189
学協会誌掲載論文・解説・資料等	…191
学協会発表主要論文	…194
英文論文	…201

- ・学協会誌への掲載は、学術論文、資料、解説など種々である。
- ・学協会発表主要論文は、日本建築学会、セメント協会、日本コンクリート工学協会等の論文集に発表したものである。日本建築学会年次大会及び支部研究会、日本大学年次講演会などに発表したものは含まない。
- ・英文論文は、日本コンクリート工学協会年次研究発表会への提出論文を英訳したもの、RILEM, CANMET/ACI, ACI等に提出したものである。

笠井芳夫経歴

学 歴

1928(昭和3)年4月15日 山梨県西八代郡鴨狩津向村803番地 笠井保一，あさぢ四男として生る
1942(昭和17)年3月31日 山梨県西八代郡山宮小学校 高等科卒業
1944(昭和19)年11月 山梨航空機関学校繰上げ卒業
1948(昭和23)年3月 正則学園中学校卒業
1953(昭和28)年3月31日 日本大学工学部新制二部建築学科卒業
1956(昭和31)年3月31日 日本大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了
1969(昭和44)年12月16日 「コンクリートの初期強度・初期養生に関する研究」により日本大学より工学博士の学位を授与される。

職 歴

1945(昭和20)年1月 大日本航空株式会社入社 1945(昭和20)年8月15日まで
1948(昭和23)年12月1日 日本大学工学部建築教室顧問 1957(昭和32)年6月30日まで
1957(昭和32)年7月1日 日本大学短期大学部助手工科勤務
1959(昭和34)年4月17日 日本大学専任講師理工学部勤務
1960(昭和35)年4月1日 日本大学短期大学専任講師工科勤務
1966(昭和41)年4月1日 日本大学助教授生産工学部勤務
1973(昭和48)年4月1日 日本大学教授生産工学部勤務
1998(平成10)年4月14日 日本大学定年退職
1998(平成10)年6月 日本大学名誉教授

1985(昭和60)年7月 日本大学大学院生産工学研究科大学院担当 1986(昭和61)年7月まで
1989(平成元)年7月 日本大学生産工学部生担当・生活委員会委員長 1991(平成3)年7月まで
1992(平成4)年4月 日本大学大学院生産工学研究所長 1993(平成5)年3月まで

表 彰

- 1) 日本建築学会論文賞 1974(昭和 49)年 5 月「コンクリートの初期性状に関する研究」
- 2) セメント協会論文賞 1975(昭和 50)年 5 月「硬化初期におけるコンクリートの力学的性状に関する研究」
- 3) 日本コンクリート工学協会技術賞 1986(昭和 61)年 5 月「鉄筋の直接通電加熱によるコンクリートの表層剥離工法の開発」
- 4) 日本非破壊検査協会論文賞 1990(平成 2)年 5 月「コンクリートの版内の最速経路の予測と版厚の測定に関する研究」
- 5) 日本非破壊検査協会功績賞 1992(平成 4)年 10 月
- 6) 科学技術庁長官賞 1993(平成 5)年 10 月「原子力の安全性に関する功勞に対して」
- 7) セメント協会論文賞 1998(平成 10)年度「コンクリートの表層から内部にいたる細孔構造と圧縮強度の関係」
- 8) 日本建築学会終身会員 2000(平成 12)年 12 月
- 9) 日本コンクリート工学協会名誉会員 2000(平成 12)年 6 月
- 10) 全国解体工事業団体連合会功績賞 2003(平成 15)年 9 月
- 11) 日本建築学会教育賞(教育業績) 2009(平成 21)年 5 月「建築材料およびコンクリートの教育に関する長年の貢献」
- 12) 叙勲：瑞宝中綬章 2009(平成 21)年 11 月

学協会等の役員・委員歴

A (社)日本建築学会関係

[日本建築学会役員等]		第1分科会・簡易試験方法小委員会主査	1976～1982年
評議員	1966～1967年	第1分科会・寒中コンクリート小委員会委員	1976～1990年
評議員	1968～1970年	第1分科会・構造体コンクリート強度研究小委員会委員→主査	1978～1981年
評議員	1971～1972年	第1分科会・高耐久性コンクリート研究小委員会主査	1996～1998年
評議員	1974～1976年	第1分科会・解体工事小委員会主査	1994～1999年
評議員	1977～1979年	[日本建築学会海洋委員会]	
評議員	1980～1982年	海洋懇談会委員	1972～1976年
評議員	1983～1985年	海洋本委員会委員	1976～1994年
理事(会員担) 選挙管理委員会委員	1985～1986年	海洋材料施工分科委員→主査	1978～1990年
評議員	1986～1988年	[その他]	
評議員	1989～1991年	連続繊維複合材料研究委員会委員	1990～1992年
日本建築学会関東支部役員	1961～1977年	都営高輪アパート調査特別委員会委員	1990～1992年
日本建築学会終身会員	2000年～	文献抄録小委員会委員	1958～1964年
[日本建築学会調査研究委員会]		学術委員会審査部会・材料施工委員	1980～1982年
材料調査小委員会委員	1968～1971年	講習会等事業委員会委員	1986～1992年
混和材料小委員会委員	1968～1976年	学術用語標準化委員会建築材料施工分科会委員	1986～1988年
型枠小委員会委員	1968～1976年	学術委員会審査部会・海洋委員	1988～1990年
建築材料実験用材料編集小委員会委員	1968～1970年	RILEM分科会幹事→主査→委員	1988～1996年
第1分科会委員	1971～1976年		
第1分科会幹事	1971～1976年		
第1分科会・調合小委員会委員	1972～1976年		
第1分科会・砕砂小委員会委員	1974～1976年		
第1分科会・骨材小委員会委員	1976～1984年		

B (社)日本コンクリート工学協会関係 (日本コンクリート会議→日本コンクリート工学協会)

理事	1977～1979年	JIS見直し調査委員会委員	1980～1981年
海砂に関する調査研究委員会幹事	1972～1974年	試験委員会幹事・幹事長	1984～1986年
コンクリート工学編集委員会委員長	1977～1979年	耐久性診断研究委員会委員	1986～1988年
コンクリート品質の早期判定方法研究委員会委員	1977～1982年	セメント・コンクリート試験装置調査研究委員会委員長	1998～2000年
図書出版委員会委員長	1980～1984年		

C (社)セメント協会関係

論文審査委員会委員	1989～1995年	通産省生活局委託「コンクリートの耐久性に関する研究委員会」委員	1975～1983年
セメント・コンクリート誌編集委員	1979～1992年		
海洋開発専門委員会委員	1975～1983年		

D 石膏石灰学会（現無機マテリアル学会）関係

理事	19?～19?年	編集委員会委員	1993～1994年
企画委員会委員長	1993～1994年	評議員	1995～1997年
事業委員会委員	1993～1994年	編集委員	199?～199?年
会員拡大委員会委員	1993～1994年	講習会委員	199?～199?年

E (社)日本非破壊検査協会

鉄筋コンクリートの非破壊試験特別研究委員会主査	1990～1996年	鉄筋コンクリートの非破壊試験特別研究委員会委員	1996年～現在
奨励費審査委員会委員	1994年	幹事	

F 建築業協会関係（1972年頃まで財団法人，その後社団法人となる）

解体工法委員会委員	1971～1984年	建設廃棄物処理再利用委員会委員長	1977～1981年
RC破壊工法委員会委員	1970～1976年		

G (財)建築センター関係

耐久性委員会委員	1979～1987年	材系委員会委員長	1992～1995年
耐久性評定委員会委員	1987～1995年	施工技術審査会証明委員会委員→委員長	1993～2000年
コンクリート用高炉スラグ骨材性能評定委員会委員	1982～1983年	ZRC工法専門委員会委員長	1994～1995年
建築発生材・発生土の処理と再利用の技術開発委員会委員	1992～1995年	アロンパイル委員会委員長	1996～1998年
建築発生材・発生土の処理と再利用の技術開発・木		建築物の解体除去技術に関する調査研究委員会委員・同WG主査	1987～1988年

H (財)国土開発技術センター関係

鉄筋コンクリート構造物の劣化現象に関する調査研究委員会委員 文献調査WG主査	1980～1986年	号)第9条に基づく「膨張圧を利用した静的破粉剤破粉工法の開発」評価委員会委員	1982年頃
建設省委託「建設事業への廃棄物再利用技術の開発」建築物分科会委員	1981～1986年	建設省委託「鉄筋コンクリート構造物の超軽量化・超高層化技術の開発」技術委員会委員	
建設省委託「建設事業への廃棄物再利用技術の開発」建築物分科会WG-2(コンクリート廃材・産業廃材)	1981～1986年		1991～1993年
建設省建設技術評価規定（1978年建設省告示第976		建設省委託「建設副産物の発生抑制・再利用技術の開発」全体委員会委員	19?～19?年

I (財)建材試験センター関係

通産省委託「構造材料の安定性に関する標準化のための調査研究」委員会委員	1976～1983年	通産省委託「構造材料の安定性に関する標準化のための調査研究」委員会コンクリート分科会耐薬品性WG委員	1978～1982年
通産省委託「構造材料の安全性に関する標準化のための調査研究」委員会コンクリート分科会凍結融解WG委員	1976～1979年	通産省委託「建築材料の耐久性に関する標準化のための調査研究」委員会委員	1986～1989年

通産省委託「建築材料等の耐久性に関する標準化のための調査研究」委員会耐久環境調査部会主査
1986～1989年
通産省委託「ライフサイクル性能評価技術の標準化に関する調査研究」委員会委員 1992～1994年
(財)東京フロンティア協会委託「再生コンクリート検討委員会」委員長 1993年
通産省委託「新発電システム環境評価標準確立調査」委員会委員長 1995～1997年

J 日本原子力研究所関係

科学技術庁委託「デコミッションング研究委員会」委員 1979～1984年
科学技術庁委託「原子炉解体技術検討委員会」委員 1988～1989年
科学技術庁委託「原子炉解体技術検討委員会」解体遠隔部会委員 1983～1985年
科学技術庁委託「原子力施設解体技術研究委員会」専門部会委員会 1995～1998年
科学技術庁「原子力安全技術顧問会」委員 1982～1995年

東京都建設廃材処理協同組合委託「再生コンクリート技術委員会」委員長 1997～1998年
通産省委託「建設資材関連のリサイクルシステムに関する標準化調査」委員会委員長 1998～2000年
通産省委託「廃プラスチックのリサイクル品に関する試験・評価方法の標準化調査研究」委員会委員長 1998～1999年
通産省委託「JIS A 1171 ポリマーセメントモルタルの試験方法改正原案作成委員会」 1998～1999年

原子炉施設解体安全部会解体小委員会委員 19?～19?年
科学技術庁「原子炉安全技術顧問会」原子力船むつ解体状況に係る現地調査 1995年06月22日
内閣総理大臣発令「原子力安全顧問会」専門委員 1985～1999年
科学技術庁委託(財)原子力施設デコミッションング研究協会「核燃料施設等解体技術総合調査検討評価委員会」委員長 1997～2001年

K 建設省関係

建設省住宅局「建設技術審査専門委員会」専門委員 1987～1988年
建設省住宅局「建設技術審査専門委員会」コンクリ

ート品質問題専門委員会委員 1991～1992年
建設省住宅局「建設技術審査専門委員会」環境対策専門委員会委員 1993～1995年

L 東京都関係

東京都環境保全局委託(株)エックス都市研究所「建物解体等アスベスト飛散防止対策検討会」委員 1988年

東京都財務局委託(財)東京都建築防災センター「再生コンクリート検討委員会」委員長1992～1994年

M (社)全国火薬類保安協会関係

通産省委託「コンクリート構造物解体用発破対策委員会」委員 1987～1991年
東京都委託「都市構造物(地下部分)の解体発破による影響調査委員会」委員長 1991～1992年
(財)北海道地域総合振興機構委託事業「産業地域進行可能性調査(除去・解体技術の現状把握委員会)委員長 1992～2001年

滋賀県より技術援助依頼「未完成ビル(大津市)の爆破解体工事」に係る技術コンサルティング委員会委員長 1990～1992年
兵庫県より技術援助「三菱倉庫B号倉庫解体発破計画の安全性評価委員会」委員長 1993年
はまなす財団「モデル解体工事技術委員会」委員長 1996～2001年

N (社)全国解体工事業団体連合会関係

理事 2001年～現在
 解体工事施工技士審査委員会委員長 1994年～現在

解体工事更新講習委員会委員長 1998年～現在

O (財)日本規格協会関係

「JIS A 6202 コンクリート用膨張材」の原案作成委員会委員 1978年
 「コンクリート用化学混和剤」の原案作成委員会委員
 「鉄筋コンクリート用防錆剤」の原案作成委員会委員
 通産省委託「工業標準改正原案調査作成委員会」委員 1991～1992年

JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) および JIS A 6205 (鉄筋コンクリート用防錆剤) の工業標準見直し
 JIS A 5303 (レディーミクストコンクリート) の規格原案委員会委員 1985～1986年
 通産省委託「JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) の規格原案作成委員会」委員 1991～1992年

P その他

ウオータージェット学会理事
 厚生労働省委託(社)日本保安用品協会：廃棄物焼却施設解体工事におけるダイオキシン類対策検討委員会委員 2000～2001年
 国土交通省委託(財)建設産業教育センター：解体工事の施工技術の確保に資する講習テキスト編集委員会委員 2001年

(社)建設産業防災協会：コンクリート造の工作物の解体工事等作業主任者技能講習会講師レベルアップ講座 2005年
 RILEM Technical committee C37 DR on Demolition and Reuse of Concrete 委員 1977～1992年

工学博士学位論文審査一覧

【主査として審査した論文】

- 1) 松井 勇：建築仕上げ材料の感触に関する研究 1984(昭和59)年3月
- 2) 中川 和平：鉄筋の直接通電加熱による被りコンクリートの剥離解体工法の開発に関する研究 1990(平成2)年7月
- 3) 飛坂 基夫：高性能減水剤によるコンクリートの品質向上に関する基礎的研究 1992(平成4)年3月
- 4) 周 建東：解体木材を用いた木片コンクリートの製造及び基本的性質に関する研究 1996(平成8)年3月
- 5) 多田 眞作：気泡コンクリートの性質に及ぼす水分の影響に関する研究 1996(平成8)年7月
- 6) 新井 一彦：コンクリート床直仕上げ作業用ロボットの開発と適用性に関する研究 1996(平成8)年11月
- 7) 川村 政史：表乾状態の土を基準としたソイルセメント・コンクリートの調合・強度に関する研究 1997(平成9)年11月
- 8) 月永 洋一：寒冷地コンクリートの劣化性状とその診断への非破壊試験の適用に関する実験的研究 1998(平成10)年3月
- 9) 湯浅 昇：表層コンクリートの品質に関する基礎的研究 1998(平成10)年3月

【副査として審査した論文】

- 1) 河合 糺茲：異形鉄筋の静的及び動的付着強度に関する研究 1986(昭和61)年11月
- 2) 伊藤 千浩：飛来物の衝突に対するコンクリート構造物の耐衝撃設計手法 1989(平成元)年11月
- 3) 町長 治：膨張セメントの開発とその性能に関する研究 1990(平成2)年7月
- 4) 越川 茂雄：コンクリートの毛管浸透性に関する研究 1992(平成4)年3月
- 5) 三上 治：組紐状FRPロッドのコンクリート補強材への適用に関する研究 1992(平成4)年3月
- 6) 桜田 智之：鉄筋コンクリート部材の重ね継手の付着割裂性状に関する研究 1995(平成7)年3月
- 7) 長瀬 公一：高強度モルタルを使用した打ち込み型枠の実用化研究 1996(平成8)年3月
- 8) 飛内 圭之：セメント用混和材のマスコンクリートへの適用に関する研究 1996(平成8)年3月
- 9) 藤井 和俊：建築工事における高強度高流動コンクリートの施工性に関する実験的研究 1998(平成10)年3月)
- 10) 中田 善久：グルコン酸ナトリウムによる構造体コンクリートの単位セメント量試験方法の確立と適用に関する研究 2000(平成12)年3月
- 11) 小井戸純司：電磁誘導試験法によるコンクリート中の鉄筋かぶりと直径の推定に関する研究 2001(平成13)年7月
- 12) 石 雲興：各種鉱物質微粉末の表面作用が高性能コンクリートの品質に及ぼす影響に関する研究 2002(平成14)年10月
- 13) 加藤 直樹：構造コンクリートの乾湿潤および凍結融解作用に対する耐久性と劣化のメカニズム 2004(平成16)年12月

編著書一覧

- 1) 分担執筆 コンクリートの技術事典, オーム社, 1968(昭和43)年4月
- 2) 笠井芳夫著: コンクリートの初期強度・初期養生に関する研究(学位論文), 自費出版, 1968(昭和43)年10月
- 3) 笠井芳夫編著: コンクリート構造物の解体工法, 日刊工業新聞社, 1970(昭和45)年5月
- 4) 笠井芳夫著: コンクリートの試験, セメント協会, 1972(昭和47)年3月
- 5) 笠井芳夫: コンクリートポンプ工法施工指針案・同解説(改訂版), 日本建築学会委員会小委員会(主査), 1972(昭和47)年10月
- 6) 建築工事標準仕様書・同解説「JASS5鉄筋コンクリート」工事解説(分担執筆), 日本建築学会材料施工委員会(委員), 1975(昭和50)年1月
- 7) 分担執筆 コンクリート便覧, 技報堂出版, 1976(昭和51)年2月
- 8) 分担執筆 わかり易いセメント・コンクリート知識, 鹿島出版会, 1976(昭和51)年4月
- 9) 代表・松井嘉孝・分担執筆 建築物の耐用性診断とその対策, 彰国社, 1976(昭和51)年5月
- 10) 分担執筆 再生骨材および再生コンクリートの使用基準(案)・同解説, 建築業協会委員会(委員長), 1977(昭和52)年度
- 11) 笠井芳夫著: 材料科学概説, 彰国社, 1977(昭和52)年6月
- 12) 笠井芳夫編著: 解体工法と積算, 経済調査会出版部(研究会代表者), 1979(昭和54)年6月
- 13) 分担執筆 建築実験法, 彰国社, 1980(昭和55)年4月
- 14) 笠井芳夫・向井 毅・大濱嘉彦共著: 建築技術講座・建築材料学, 理工図書, 1981(昭和56)年1月
- 15) 材料科学概論(笠井芳夫著を中国語に翻訳), 中国・中国建築工業出版社, 1981(昭和56)年2月
- 16) 分担執筆 新訂建築士技術全書 3, 材料, 彰国社, 1981(昭和56)年4月
- 17) 大岸佐吉・岸谷孝一・笠井芳夫共著: 現代建築材料工学, オーム社, 1981(昭和56)年10月
- 18) 分担執筆 新建築学大系46建築構造材料と施工, 彰国社, 1981(昭和56)年11月
- 19) 分担執筆 コンクリート工学ハンドブック, 朝倉書店, 1981(昭和56)年11月
- 20) 山口 廣・笠井芳夫・浅野平八共著: 技術系論文のまとめ方<建築卒論・レポートの書き方>, 井上書院, 1984(昭和59)年6月
- 21) 笠井芳夫: コンクリートの早期迅速試験方法集, 日本建築学会小委員会(主査), 1985(昭和60)年
- 22) 分担執筆 海洋構造物設計基準(固定式)(案)・同解説, 日本建築学会小委員会(委員), 1985(昭和60)年4月
- 23) 笠井芳夫共編著: 最新のコンクリート材料工法ハンドブック, 建築産業調査会, 1986(昭和61)年1月
- 24) 笠井芳夫・小林正几編著: セメント・コンクリート用混和材料, 技術書院, 1986(昭和61)年5月
- 25) 分担執筆 鉄筋コンクリート工事仕様書(JASS5)・同解説, 日本建築学会委員会(委員), 1986(昭和61)年12月
- 26) 笠井芳夫著 増補改訂版 コンクリートの試験, セメント協会, 1987(昭和62)年2月
- 27) 主査・笠井芳夫 構造体コンクリートの強度に関する研究の動向と問題点, 日本建築学会, 1987(昭和62)年11月
- 28) 分担執筆 廃棄物処理・リサイクルの技術と機器, 産調出版, 1988(昭和63)年5月
- 29) Editor Y.KASAI: Proceedings of the Second International RILEM Symposium Vol,1: Demolition Methods and Practice Vol,2: Reuse of Demolition Waste, Chapman and Hall, 1988(昭和63)年11月

経歴・発表論文

- 30) 分担執筆 文部省学術用語 建築学編, 丸善, 1990(平成2)年4月
- 31) 分担執筆 建築工事標準仕様書・同解説JASS 5鉄筋コンクリート工事, 日本建築学会委員会(委員), 1991(平成3)年7月
- 32) 笠井芳夫: 高耐久性鉄筋コンクリート造設計施工指針(案)・同解説, 日本建築学会小委員会(主査), 1991(平成3)年7月
- 33) 分担執筆 廃棄物の処理・資源化技術と有効利用, 工業技術会, 1992(平成4)年5月
- 34) 笠井芳夫編著: 新非破壊検査便覧, 日刊工業新聞社, 1992(平成4)年10月
- 35) 田代忠一・笠井芳夫・田澤榮一編著: セメント・コンクリート中の水の挙動, セメント・コンクリート研究会・水委員会, 1993(平成5)年5月
- 36) 笠井芳夫・池田尚治編著: コンクリートの試験方法(上), 技術書院, 1993(平成5)年6月
- 37) 笠井芳夫・池田尚治編著: コンクリートの試験方法(下), 技術書院, 1993(平成5)年6月
- 38) 分担執筆 建築学用語辞典, 岩波書店, 1993(平成5)年12月
- 39) 編集責任者 コンクリート構造物の非破壊試験方法, 養賢堂, 1994(平成6)年12月
- 40) 笠井芳夫編著: 解体工法と積算 改訂版, 経済調査学会, 1995(平成7)年10月
- 41) 編集委員・分担執筆 セメント・石膏・石灰ハンドブック, 技報堂出版, 1995(平成7)年11月
- 42) 笠井芳夫・大濱嘉彦・菊池雅史共著: 建築材料学 改訂版, 理工図書, 1996(平成8)年4月
- 43) 笠井芳夫・富士 岳・田村 博・笠井哲郎共著: コンクリート構造物の非破壊検査, オーム社, 1996(平成8)年4月
- 44) 笠井芳夫・小林正几編著: 改訂セメント・コンクリート用混和材料, 技術書院, 1993(平成5)年9月
- 45) 笠井芳夫編著: コンクリート総覧, 技術書院, 1998(平成10)年6月
- 46) 分担執筆 鉄筋コンクリート造の解体工事施工指針(案)・同解説, 日本建築学会小委員会(主査), 1998(平成10)年12月
- 47) 笠井芳夫著: コンクリートとともに歩んだ45年, 自費出版, 2001(平成13)年4月
- 48) 笠井芳夫編著: 軽量コンクリート, 技術書院, 2002(平成14)年11月
- 49) 笠井芳夫・大濱嘉彦・松井 勇・出村克宣共著: 新版 建築材料学, 理工図書, 2003(平成15)年3月
- 50) 分担執筆 環境技術・装置大辞典 I, 産業調査委員会, 2003(平成15)年6月
- 51) 笠井芳夫・坂井悦郎編著: 新・セメント・コンクリート用混和材料, 技術書院, 2007(平成19)年1月
- 52) 山口 廣・笠井芳夫・浅野平八共著: 建築学生のための卒業論文の書き方, 井上書院, 2008(平成20)年4月
- 53) 笠井芳夫・長龍重義編: 日本のコンクリート技術を支えた100人, セメント新聞社, 2009(平成21)年3月
- 54) 笠井芳夫著: 土木建築技術者のための材料科学概説, セメント新聞社, 2010(平成22)年2月

学協会誌掲載論文・解説・資料等

- 1) 松井嘉孝, 笠井芳夫: 表面活性剤を用いたコンクリートについて (空気量と有効水量減少率との関係及び空気量と28日圧縮強度減少率との関係), 建築雑誌, pp.331-338(1962.05)
- 2) 笠井芳夫: 建築学の諸領域—材料施工「材料・施工の問題点: 材料の選び方」, 建築雑誌, pp.363-365(1969.06)
- 3) 笠井芳夫: コンクリートの初期引張強度に関する研究, コンクリート・ジャーナル, Vol.7, No.7, pp.1-7(1969.07)
- 4) 笠井芳夫, 松井嘉孝, 横山 清: コンクリートの打継ぎ許容時間の推定方法, セメント・コンクリート, No.270, pp.14-21(1969.08)
- 5) 笠井芳夫: 構造物の解体工法の現状と将来, 建築雑誌, Vol.84, No.1015(1969)
- 6) 笠井芳夫: コンクリート構造物の解体工法, セメント・コンクリート, No.279, pp.23-32(1970.05)
- 7) 笠井芳夫, 柴田修身: 早期脱型したコンクリートの流水による損耗について, セメント・コンクリート, No.248, pp.20-25(1970.10)
- 8) 笠井芳夫: 解体技術, 建築年報, pp.305-308, 日本建築学会(1971.06)
- 9) 笠井芳夫: アメリカの解体業, コンクリート・ジャーナル, Vol.19, No.9, pp.54-57(1971.09)
- 10) 笠井芳夫, 横山 清: コンクリートの初期材齢における圧縮強度とひずみ度との関係, コンクリート・ジャーナル, Vol.9, No.12, pp.1-12(1971.02)
- 11) 笠井芳夫, 柴田修身: 早期に海水に浸せきしたモルタルコンクリートの塩分浸透に関する1実験, セメント・コンクリート, No.289, pp.44-50(1971.11)
- 12) 笠井芳夫: 新しい解体工法, コンクリート・ジャーナル, Vol.11, No.1, pp.39-48(1973.01)
- 13) 笠井芳夫, 村里信彦: 解体に関する文献, コンクリート・ジャーナル, Vol.11, No.1, pp.109-115(1973.01)
- 14) 笠井芳夫: 総説・コンクリートの初期性状, コンクリート・ジャーナル, Vol.11, No.10, pp.1-14(1973.10)
- 15) 笠井芳夫: 建設産業における廃棄物処理の現状と今度の方向, 金属, pp.1-5(1973.10)
- 16) 笠井芳夫: 海砂—使用上の注意と問題点一, セメント・コンクリート, No.331, pp.90-97(1974.09)
- 17) 笠井芳夫: 海砂に関する海外事情, コンクリート・ジャーナル, Vol.12, No.10, p.10(1974)
- 18) 笠井芳夫: 技術ページ, ビル解体工法, 建築東京建築士会, Vol.10, No.10, pp.12-16(1974.10)
- 19) 笠井芳夫: セメント協会論文賞を受賞して, セメント・コンクリート, No.341, pp.47-50(1975.07)
- 20) 笠井芳夫, 斉藤鶴義: 解説・スラッジ混入コンクリート, コンクリート工学, Vol.13, No.9, pp.31-42(1975.09)
- 21) 笠井芳夫, 加賀秀治: コンクリート破砕物の再利用 (その1: コンクリート破砕骨材の性状), セメント・コンクリート, No.347, pp.20-28(1976.01)
- 22) 笠井芳夫: 解説・コンクリート破砕物の再利用 (その2(完): 破砕骨材を用いたコンクリート), セメント・コンクリート, No.348, pp.16-28(1976.02)
- 23) 笠井芳夫: 新しい骨材—再生骨材一, コンクリート工学, Vol.16, pp.61-71(1976.09)
- 24) 笠井芳夫: コンクリート廃棄物のコンクリート用骨材としての利用, コンクリート工学, Vol.14, No.9, pp.48-52(1976.09)
- 25) 笠井芳夫: 廃棄物の処理と資源化, セメント・コンクリート, No.355, pp.119-132(1976.09)
- 26) 笠井芳夫: コンクリートの簡易試験, セメント・コンクリート, No.362, pp.2-6(1977.04)

- 27) 笠井芳夫：構造体コンクリートのばらつきについて，建築雑誌，Vol.92，No.1126，pp.1-5(1977.09)
- 28) 笠井芳夫：まだ固まらないコンクリートの試験，セメント・コンクリート，No.367，pp.41-51(1977.09)
- 29) 笠井芳夫：RC造建築物の劣化プロセス，コンクリート用防錆剤の乾湿繰り返し促進試験方法に関する研究，施工，No.229(1985)
- 30) 笠井芳夫：やさしいコンクリートの知識/（その1），コンクリートとは何か—その特徴・使われ方，コンクリート工学，Vol.16，No.4，pp.72-78(1978.04)
- 31) (財)日本建設協会建設副産物処理再利用委員会（主査 笠井芳夫）：再生骨材コンクリートに関する研究，コンクリート工学，Vol.16，No.7，p.7(1978)
- 32) 笠井芳夫，中村 登：温度変化を伴うセメントの海水による乾湿繰り返し試験（その1物理的变化），セメント・コンクリート，No.382，pp.24-31(1978.12)
- 33) 笠井芳夫：湿度変化を伴うセメントの海水による乾湿繰り返し試験（その2化学変化），セメント・コンクリート，No.385 pp.23-27(1979.03)
- 34) 笠井芳夫：省資源・省エネルギー型セメント，石膏と石灰，No.169，pp.24-35(1980.11)
- 35) 笠井芳夫：岩石・コンクリートの静的破砕剤，コンクリート工学，Vol.20，No.10，pp.8-17(1982.10)
- 36) 笠井芳夫：材料学徒からみた近代・建築構造の変遷，建築技術，No.367，pp.143-158(1982.03)
- 37) 笠井芳夫，松井 勇：モルタルの透気性に関する試験，セメント・コンクリート，pp.8-15(1983.06)
- 38) 笠井芳夫：新製品開発特集，無機・新建築材料夢物語，石膏・石灰，pp.332-325，No.187(1983)
- 39) 笠井芳夫：RC建築物の劣化プロセス，施工，No.229(1985.01)
- 40) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：初期養生方法および拘束程度がコンクリートの収縮ひびわれに及ぼす影響，セメント・コンクリート，No.458，pp.8-15(1985.04)
- 41) 笠井芳夫：コンクリート用塗料の透気性について，建築仕上技術，Vol.10，No.120，pp.68-71(1985.07)
- 42) 笠井芳夫：コンクリートの圧縮強度の非破壊試験方法，非破壊検査，Vol.34，No.10，pp.718-724(1985.10)
- 43) 笠井芳夫：特集・解体工法の変遷と評価，セメント・コンクリート，No.487，pp.2-4(1987.09)
- 44) 中川和平，西多 致，笠井芳夫：鉄筋の電気的加熱による解体工法，セメント・コンクリート，pp.49-55(1987.09)
- 45) 笠井芳夫：塩化物による鉄筋コンクリートの劣化，コンクリート工学，Vol.25，No.11，pp.28-31(1987.11)
- 46) 笠井芳夫：特集 鉄筋コンクリート構造物の塩害劣化，コンクリート工学，Vol.25，No.11，pp.28-31(1987)
- 47) 笠井芳夫：特集 コンクリート構造物の耐久診断，耐久性診断の位置付けと考え方—建築構造物の場合—，コンクリート工学，Vol.26，No.7，pp.14-21(1988.07)
- 48) 笠井芳夫：コンクリート改質材料の展開，セメント・コンクリート，No.500(1988.11)
- 49) 笠井芳夫：特集・早期迅速判定法と品質保証，早期迅速試験方法の総合的な動向，月刊生コンクリート，Vol.7，No.11，pp.54-66(1988.11)
- 50) 笠井芳夫：コンクリート構造物の壊し方と再利用に関する第2回RILEM国際会議，コンクリート工学，Vol.27，No.2，pp.83-85(1989.02)
- 51) 笠井芳夫：コンクリートとともに45年（最終講義資料），笠井芳夫退任記念誌(1989.04.15)
- 52) 笠井芳夫：コンクリート構造物の壊し方とその評価，コンクリート工学，Vol.27，No.9，pp.13-23(1989.09)
- 53) 笠井芳夫：特集・コンクリートのハイパフォーマンス化に向けて 建築における耐久性向上対策，月刊生コンクリート，Vol.9，No.11，pp.34-47(1990)

- 54) 笠井芳夫：コンクリートの非破壊試験の現状と課題，第3回 新素材及びその製品の非破壊評価シンポジウム 論文集，無機マテリアル学会，pp.141-159(1990.11)
- 55) 笠井芳夫：日本建築学会，高耐久性鉄筋コンクリート造設計施工指針(案)の概要，セメント・コンクリート，No.536，pp.37-47(1991.10)
- 56) 笠井芳夫：特集：建材の現状と展望，リサイクル骨材について，月刊生コンクリート，Vol.10，No.11，pp.90-96(1991.11)
- 57) 笠井芳夫：セッコウ・石灰と環境の浄化・保全，石膏と石灰，No.234，pp.3-11(1991.11)
- 58) 飛内圭之，朝倉悦郎，笠井芳夫他：天然ゼオライトおよび3種類のコンクリート用無機混和材のキャラクターゼーション，石膏と石灰，No.244，pp.13-20(1993)
- 59) 笠井芳夫：社会に役立つコンクリート リサイクルの立場から（建築），コンクリート工学，Vol.32，No.1，pp.123-126(1994.01)
- 60) 笠井芳夫：総特集：環境との共生に取り組む施工技術 建築のライフ・メンテナンス・リサイクル，建築技術 施工，pp.102-108(1995.03)
- 61) 笠井芳夫：特集：コンクリートのひびわれをめぐって コンクリートのひびわれ防止のポイント，建築技術，No.244，pp.104-107(1995.05)
- 62) 笠井芳夫：建設副産物のリユース・リサイクル，軽金属，Vol.46，No.11，pp.544-550(1996.03)
- 63) 笠井芳夫：解説 建設副産物の再利用の障壁とコンクリート塊の再利用の現状，骨材資源，No.118，pp.77-86(1998)
- 64) 笠井芳夫：解説 コンクリートの中性化とその簡易な試験方法，非破壊検査，Vol.47，No.8，pp.643-648(1998)
- 65) 笠井芳夫：混和材の種類・性質・将来展望，コンクリート工学(100号記念特集)，Vol.37，No.1，pp.52-56(1999.01)
- 66) 湯浅 昇，笠井芳夫，松井 勇：構造体コンクリートの表層から内部にいたる強度分布，セメント・コンクリート，Vol. 625，pp.44-52(1999.03)
- 67) 森濱和正，笠井芳夫，山口哲夫：超音波によるコンクリート版内の最速経路の予測と版厚測定に関する研究，非破壊検査，Vol.48，No.5，pp.294-302(1999.05)
- 68) 笠井芳夫：コンクリートと組積造の解体と再利用に関する第2回RILEM国際会議
- 69) 笠井芳夫：特集：どうなる21世紀の環境エネルギー 循環型社会に向けごみをどうする 桜門春秋，No.8，pp.18-27(2000夏季号)
- 70) JCI委員会報告：セメント・コンクリートの試験装置調査，コンクリート工学，Vol.39，No.7，pp.54-62(2001.07)
- 71) 笠井芳夫：無機材料の非破壊試験，無機材料学会誌，pp.146(2004.11)
- 72) 笠井芳夫：特集：現場技術者のためのRC造ひびわれ防止対策 コンクリートのひび割れは宿命か制御できるのか，建築技術，pp.100-101(2006.06)
- 73) 日本建築学会：2009年日本建築学会教育賞（教育業績）建築材料およびコンクリートの教育に関する長年の貢献，建築雑誌，Vol.124，No.1593（2009.08）

学協会発表主要論文

- 1) 笠井芳夫：コンクリートの初期強度に関する研究，セメント技術年報，No.15，pp.387-392(1961.05)
- 2) 笠井芳夫：コンクリートの初期強度に関する研究（水セメント比およびスランプを変えた場合），セメント技術年報，No.16，pp.255-259(1962.05)
- 3) 笠井芳夫：混合セメントを用いたモルタル・コンクリートの養生温度と強度との関係に関する研究，セメント技術年報，No.17，pp.297-303(1963.05)
- 4) 笠井芳夫，平賀友晃，横山 清：コンクリートの初期強度に関する研究-セメントの種類をかえた場合-，セメント技術年報，No.17，pp.321-326(1963.05)
- 5) 笠井芳夫，横山 清，平賀友晃：コンクリートの初期強度に関する研究-養生温度をかえた場合-，セメント技術年報，No.18，pp.243-249(1963.05)
- 6) 笠井芳夫：供試体寸法とコンクリートの圧縮強度並びに強度のバラツキとの関係(10φ×20 cmと15φ×30cm供試体との関係および5φ×10cm供試体と15φ×30cmとの関係)，日本建築学会論文報告集，No.100，pp.1-12(1964.07)
- 7) 笠井芳夫，横山 清，平賀友晃：軽量骨材を用いた硬練りコンクリートの強度・弾性について，構造用軽量コンクリートシンポジウム論文集，日本建築学会，pp.19-22(1964.11)
- 8) 笠井芳夫：続・供試体寸法とコンクリートの圧縮強度並びに強度のバラツキとの関係（成型方法，粗骨材の最大寸法，軟度，養生方法，材令などが供試体の強度に及ぼす影響），日本建築学会論文報告集，No.107，pp.8-16(1965.01)
- 9) 笠井芳夫，横山 清，平賀友晃：コンクリートの初期強度に関する研究-混和剤を用いた場合-，セメント技術年報，No.19，pp.368-373(1965.05)
- 10) 笠井芳夫，横山 清：コンクリートの初期凍害に関する研究-繰り返し凍結をうける場合-，セメント技術年報，No.19，pp.374-379(1965.05)
- 11) 笠井芳夫，横山 清：コンクリートの初期強度に関する研究，セメント技術年報，No.20，pp.309-313(1966.05)
- 12) 笠井芳夫，横山 清：コンクリートの初期凍害に関する研究，セメント技術年報，No.20，pp.333-337(1966.05)
- 13) 笠井芳夫：コンクリートの初期圧縮強度推定方法，日本建築学会論文報告集，No.141，pp.1-10(1967.11)
- 14) 笠井芳夫，岡村一臣：コンクリートの初期引張強度に関する研究，セメント技術年報，No.22，pp.320-325(1968.05)
- 15) 笠井芳夫，横山 清：アルミナセメントコンクリートの初期凍害に関する一実験，セメント技術年報，No.22，pp.448-452(1968.05)
- 16) 笠井芳夫：コンクリートの凝結・硬化に関する一考察，セメント技術年報，No.23，pp.214-218(1969.05)
- 17) 笠井芳夫，横山 清，柴田修身：各種骨材を用いたコンクリートの初期凍害に関する研究，セメント技術年報，No.23，pp.265-268(1969.05)
- 18) 笠井芳夫：先に提案したコンクリートの初期圧縮強度推定方法の適用性について，日本建築学会論文報告集，No.163，pp.9-18(1969.09)
- 19) 笠井芳夫，横山 清，川口俊文：コンクリートの初期収縮測定方法，セメント技術年報，No.24，pp.253-255(1970.05)
- 20) 笠井芳夫，柴田修身：早期脱型したコンクリートの流水による損耗について，セメント技術年報，No.24，

- pp.310-315(1970.05)
- 21) 笠井芳夫：極く早期脱型するコンクリートの強度に関する実験研究（その1），日本建築学会論文報告集，No.179，pp.17-24(1971.01)
 - 22) 笠井芳夫：極く早期脱型するコンクリートの強度に関する実験研究（その2），日本建築学会論文報告集，No.180，pp.7-12(1971.02)
 - 23) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：コンクリートの初期引張性状に関する研究，セメント技術年報，No.25，pp.254-258(1971.05)
 - 24) 笠井芳夫，柴田修身：早期に海水に接するモルタル・コンクリートの塩分浸透に関する実験，セメント技術年報，No.25，pp.274-277(1971.05)
 - 25) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：超早強セメントコンクリートの初期強度に関する研究，セメント技術年報，No.26，pp.383-387(1972.05)
 - 26) 笠井芳夫，松井 勇，川崎三十四：コンクリートの加圧拘束高温蒸気養生，セメント技術年報，No.27，pp.374-378(1973.05)
 - 27) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇，飛内圭之：コンクリートの初期引張歪みについて一破壊に至るまでの時間を変えた場合一，セメント技術年報，No.27，pp.234-237(1973.05)
 - 28) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇，飛内圭之：初期コンクリートの引張弾・塑性歪みの経時変化について，セメント技術年報，No.27，pp.241-243(1974.05)
 - 29) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：コンクリートの初期ひびわれに関する研究-細骨材中の微粒分含有量の影響-，セメント技術年報，No.30，pp.336-338(1976.06)
 - 30) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：半拘束状態における初期コンクリートの収縮性状に関する研究，セメント技術年報，No.31，pp.290-293(1977.06)
 - 31) 松井勇，笠井芳夫：仕上げ材の感触に関する研究（その1温冷感触），日本建築学会論文報告集，No.263，pp.21-32(1978.01)
 - 32) 笠井芳夫，中村 登：セメントの耐海水性促進試験方法に関する研究，セメント技術年報，No.32，pp.92-95(1978.05)
 - 33) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇，三村誠：コンクリートの初期ひびわれに関する研究-続細骨材中の微粒分含有量の影響-，セメント技術年報，No.32，pp.350-353，05 1978.
 - 34) 笠井芳夫，松井 勇：まだ固まらないコンクリートのセメント量の試験方法-塩酸で溶解し水酸化ナトリウムで滴定する方法-，第1回コンクリート工学年次講演会，pp.39-46(1979.05)
 - 35) 笠井芳夫，天沼邦一，堀 有一：スラグ-石膏-石灰系セメントの強度に関する研究，第1回コンクリート工学年次講演会，pp.125-128(1979.05)
 - 36) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：コンクリートの初期ひびわれに関する研究（ベントナイトによるひびわれ発生機構），セメント技術年報，No.33，pp.387-390(1979.05)
 - 37) 工藤矩弘，伊部 博，笠井芳夫：オートクレーブによる鉄筋の腐食促進試験，セメント技術年報，No.34，p.317(1980.05)
 - 38) 松井 勇，笠井芳夫：仕上げ材の感触に関する研究，日本建築学会論文報告集，No.263，pp.1-12(1980.08)
 - 39) 笠井芳夫，横山 清，松井 勇：養生温度・湿度を変えたコンクリートの初期収縮，セメント技術年報，No.34，

- pp.226-229(1980.05)
- 40) 笠井芳夫, 松井 勇, 横山 清: 極く早期に脱型したコンクリートの長期収縮, セメント技術年報, No.35, pp.262-265(1981.05)
 - 41) 笠井芳夫, 近藤勝哉: スラグ - セッコウ - 石灰系セメントの強度に関する研究, 第3回コンクリート工学年次講演会, pp.57-60 (1981.06)
 - 42) 笠井芳夫, 松井 勇, 福島幸典, 蒲原博行: セメントモルタル板の透気性試験, セメント技術年報, No.36, pp.440-443(1982.05)
 - 43) 笠井芳夫, 田中弘文, 戸谷陽一, 近藤勝哉: スラグ - セッコウ - 石灰系セメントモルタルの強度劣化に関する研究, 第4回コンクリート工学年次講演会論文集, pp.93-96(1982.06)
 - 44) 笠井芳夫, 福島幸典, 富永勝美: 解体木材を用いた破碎木片セメント板の製造・性質に関する実験研究, 第4回コンクリート工学年次講演会論文集, pp.105-108(1982.06)
 - 45) 笠井芳夫, 松井 勇, 横山 清, 丹 英一: コンクリートの拘束ひびわれに関する研究—初期一日養生が以後の拘束収縮性状に及ぼす影響—, セメント技術年報, No.37, pp.394-397(1983.05)
 - 46) 笠井芳夫, 福島幸典, 富永勝美: 木片で補強した破碎木片セメント板の性質, 第5回コンクリート工学年次講演会講演論文集, pp.1-8(1983.06)
 - 47) 笠井芳夫, 松井 勇, 蒲原博行: コンクリートの簡易透気性試験方法, 第5回コンクリート工学年次講演会講演論文集, pp.57-60(1983.06)
 - 48) 笠井芳夫, 秋山信義: 鉄筋の通電加熱によるかぶりコンクリートのはくり解体実験, 第5回コンクリート工学年次講演会講演論文集, pp.69-76(1983.06)
 - 49) 笠井芳夫, 横山 清, 松井 勇, 白須富士男: 初期養生と拘束程度を変えたコンクリートのひびわれ, セメント技術年報, No.38, pp.393-396(1984.05)
 - 50) 笠井芳夫, 松井 勇, 長野基司: コンクリートの中性化と透気性, 第6回コンクリート工学年次講演会論文集, pp.189-192(1984.06)
 - 51) 笠井芳夫, 松井 勇, 松川忠文: 構造体コンクリートの単位セメント量の試験方法, セメント技術年報, No.39, pp.150-153(1985.05)
 - 52) 笠井芳夫, 中川和平, 西多 致, 菅原甫韜: 鉄筋の通電加熱による原子炉RC遮蔽壁の表層剥離解体実験, 第7回コンクリート工学年次講演会論文集, pp.705-708(1985.06)
 - 53) 笠井芳夫, 松井 勇, 長野基司, 嵩 英雄: 各種フライアッシュ—普通ポルトランドセメント—水のオートクレーブ養生, 第7回コンクリート工学年次講演会論文集, Vol.7, pp.201-204(1985.06)
 - 54) 笠井芳夫: コンクリートの圧縮強度の非破壊試験方法, 非破壊検査, Vol.34, No.10, pp.718-724(1985.10)
 - 55) 笠井芳夫, 横山 清, 松永龍彦: ひずみ速度を変えて載荷した初期コンクリートの引張強度性状に関する研究, セメント技術年報, Vol.40(1986.05)
 - 56) 笠井芳夫, 松井 勇, 青木道佳: コンクリート短柱の簡易透気速度の経年変化, 第8回コンクリート工学年次講演会論文集(1986.05)
 - 57) 笠井芳夫, 中川和平, 西多 致, 菅原甫韜: 鉄筋の直接通電加熱による半円筒上RC壁の表層剥離解体実験, 第8回コンクリート工学年次講演会論文集(1986.05)
 - 58) 笠井芳夫, 福田礼一郎, 飛坂基夫: 流動電位によるアルカリ骨材の判定に関する実験, 第8回コンクリート工

学年次講演会論文集(1986.05)

- 59) 笠井芳夫, 笠井順一, 松井 勇: グルコン酸ナトリウムによるセメント量判定試験方法の検討, セメント技術年報, Vol.40, (1986.05)
- 60) 笠井芳夫, 笠井順一, 松井 勇, 児玉桂三: 構造体コンクリートの単位セメント量判定のための基礎実験, セメント技術年報, Vol.40(1987.05)
- 61) 笠井芳夫, 松井 勇, 青木道佳, 杉本 貢: オートクレーブ養生硬化体 (F-C-W系) の強度に及ぼすフライアッシュの品質に関する研究, 第9回コンクリート工学年次講演会論文集(1987.06)
- 62) 笠井芳夫, 佐藤孝一, 菅 一雅, 長野基司: 透水型枠及び合板型枠を用いたコンクリートのセメント量, セメント技術年報, Vol.42, pp.391-394(1988.05)
- 63) 笠井芳夫, 川村政史: ソイルセメントの成形時の含水量及び成形時間の遅れが密度及び強度に及ぼす影響, セメント技術年報, Vol.42, pp.599-602(1988.05)
- 64) 笠井芳夫, 中川和平, 西多 致, 菅原甫韌: 鉄筋の直接通電加熱工法による連壁立杭開口部解体, 第10回コンクリート工学年次講演会論文集, Vol.10, No.2, pp.134-139(1988.06)
- 65) 笠井芳夫, 長野基司, 佐藤孝一, 菅 一雅: 透水型枠及び合板型枠を用いたコンクリートの品質判定に関する研究, 第10回コンクリート工学年次講演会論文集, Vol.10, No.2, pp.441-446(1988.06)
- 66) 笠井芳夫, 長野基司, 佐藤孝一, 菅 一雅: 表層部コンクリートの品質判定方法に関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.11, No.1, pp.17-24(1989.06)
- 67) 月永洋一, 庄谷征美, 杉田修一, 笠井芳夫: コンクリート表層部の品質評価に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.12, No.1, pp.591-596(1990.06)
- 68) 飛坂基夫, 笠井芳夫, 飯塚正則, 水沼達也: 高性能AE減水剤によるコンクリートの耐久性向上に関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.12, No.1, pp.651-656(1990.06)
- 69) 中川和平, 菅原甫韌, 松浪宏和, 笠井芳夫: 鉄筋の直接電流によるRC戸境壁の開口部形成解体工法の開発, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.12, No.1, pp.651-656(1990.06)
- 70) 笠井芳夫, 佐藤政雄, 福林幸雄, 鶴田隆信, 逸見義男, 中島健吉: ホットミックスプレキャストコンクリート用セルフベリング材, セメント・コンクリート論文集, No.44, pp.(1990.12)
- 71) 川村政史, 笠井芳夫: フライアッシュを混和材として用いたソイルセメントモルタルの圧縮強度および密度に関する実験研究, 日本大学生産工学部研究報告A, pp.31-41(1991.12)
- 72) 笠井芳夫, 松井 勇, 湯浅 昇, 小井戸純司: 埋込みセラミック素子によるコンクリートの含水率測定方法に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.13, No.1, pp.397-402(1991.06)
- 73) 川村政史, 笠井芳夫: 土の表面乾燥内部飽水状態判定試験方法の提案, 土質工学会 新しい土の物理試験方法に関するシンポジウム講演論文集, pp.149-154(1992.03)
- 74) 中田善久, 笠井芳夫, 松井 勇, 湯浅 昇: 硬化コンクリートの単位セメント量判定試験方法に関する研究 (グルコン酸ナトリウムによる試験方法の確立), 日本建築学会構造系論文集, No.460, pp.1-10(1994.06)
- 75) 柳 啓, 笠井芳夫: 仕上げ材を施した原コンクリートから製造した再生粗骨材コンクリートの諸物性 (再生骨材コンクリートの調合, 凝結およびブリーディング), 日本建築学会構造系論文集, No.464, pp.7-16(1994.10)
- 76) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇: 構造体コンクリートの表面から内部の含水率及び細孔構造の不均質性, セメント・コンクリート論文集, No.48, pp.430-435(1994.12)

- 77) 笠井芳夫, 松井 勇, 湯浅 昇, 佐藤宏和:小ステンレス電極を用いたコンクリートの含水率測定, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.17, No.1, pp.671-676(1995.06)
- 78) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 逸見義男:エポキシ樹脂系仕上げ材を施工したコンクリートの含水率, 細孔構造及び仕上げ材の接着性, コンクリート工学年次論文報告集, Vo.17, No.1, pp.695-700(1995.06)
- 79) 笠井芳夫, 川村政史, 周 建東:解体木材を用いた木片コンクリートの製造及び曲げ・圧縮強度, 日本建築学会構造系論文集, No.473, pp.1-10(1995.07)
- 80) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 露木尚光:各種セメントを用いたコンクリートの乾燥に伴う内部不均質, セメント・コンクリート論文集, Vol.49, pp.60-69(1995.07)
- 81) 柳 啓, 笠井芳夫:仕上材を施した原コンクリートから製造した再生粗骨材コンクリートの諸物性-再生粗骨材コンクリートの圧縮強度, 静弾性係数および乾燥収縮-, 日本建築学会構造系論文集, No.476, pp.1-10(1995.10)
- 82) 笠井哲郎, 笠井芳夫:セメント-シリカフューム系の最密充填に関する研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.49, pp.186-191(1995.12)
- 83) 横山 清, 笠井芳夫, 平石信也, 岸谷孝一:再生粗骨材の微粒分が再生粗骨材コンクリートの2, 3の性質に及ぼす研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.49, pp.342-347(1995.12)
- 84) 横山 清, 笠井芳夫, 平石信也, 岸谷孝一:フローイングコンクリートの初期収縮・ひびわれに関する実験研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.49, pp.480-485(1995.12)
- 85) 川村政史, 笠井芳夫, 岡田能彦:減水剤を用いたソイルセメントコンクリートのゼータ電位と減水効果, セメント・コンクリート論文集, Vol.49, pp.644-649(1995.12)
- 86) 山口哲夫, 森濱和正, 富士 岳, 笠井芳夫:コンクリート部材厚さの超音波法とレーダ法による非破壊試験, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.18, No.1, pp.1227-1232(1996)
- 87) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 露木尚光:乾燥を受けた各種セメントペーストの細孔構造と圧縮強度, セメント・コンクリート論文集, Vol.50, pp.104-109(1996)
- 88) 金子 郁, 笠井芳夫, 工藤正邦:湿式微粉碎処理セメントペーストに関する研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.50, pp.158-161(1996)
- 89) 横山 清, 笠井芳夫, 平石信也, 岸谷孝一:フローイングコンクリートの初期収縮・ひび割れに関する実験研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.50, pp.588-594(1996)
- 90) 周 建東, 川村政史, 笠井芳夫:解体木材を用いた木片コンクリートの熱物性, セメント・コンクリート論文集, Vol.50, pp.932-937(1996)
- 91) 川村政史, 笠井芳夫:ソイルセメントコンクリート製造のための見掛けの表乾状態試験方法に関する実験研究, コンクリート工学論文集, Vol.7, No.1, pp.103-112(1996.01)
- 92) 川村政史, 笠井芳夫:新しい土の見掛けの表乾状態測定方法の提案-乾燥加速度法, シリカゲル散布法, 比誘電率法, pF法の比較-, コンクリート工学論文集, Vol.7, No.2, pp.167-177(1996.07)
- 93) 川村政史, 笠井芳夫:粘性土および砂の混合土の見掛けの表乾状態と吸水率試験方法, コンクリート工学論文集, Vol.8, No.1, pp.205-214(1997.01)
- 94) 川村政史, 笠井芳夫:粘性土および砂の見掛けの表乾状態に基づき配(調)合したソイルセメントコンクリートの強度, 密度に関する実験研究, コンクリート工学論文集, Vol.8, No.1, pp.215-224(1997.01)

経歴・発表論文

- 95) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇:埋め込みセラミックセンサの電気的特性によるコンクリートの含水率測定方法の提案, 日本建築学会構造系論文集, Vol.498, pp.13-20(1997.08)
- 96) 月永洋一, 庄谷征美, 笠井芳夫, 土門勝司:改良ブルオフ法による表層部コンクリート強度評価に関する研究, 日本建築学会構造系論文集, No.499, pp.31-38(1997.12)
- 97) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇:構造体コンクリートの表面から内部にいたる圧縮強度分布, セメント・コンクリート論文集, No.51, pp.840-845(1997.12)
- 98) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 逸見義男, 佐藤宏和:仕上げ材を施すコンクリート床スラブの含水率, 細孔構造, 日本建築学会構造系論文集, Vol.504, pp.7-13(1998.02)
- 99) 湯浅昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 大川原修:乾燥条件が微小セメントペーストの水和, 細孔構造及び強度に及ぼす影響, 日本建築学会構造系論文集, Vol.505, pp.15-21(1998.03)
- 100) 月永洋一, 庄谷征美, 笠井芳夫, 土門勝司:簡易試験による表層部コンクリートの透過性評価に関する研究, 日本建築学会構造系論文集, Vol.506, pp.7-(1998.04)
- 101) 平石信也, 横山 清, 笠井芳夫:高強度高流動コンクリートの初期ひびわれに関する実験研究, 日本建築学会構造系論文集, Vol.506, pp.21-27(1998.04)
- 102) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇:乾燥を受けたコンクリートの表層から内部にわたる含水率, 細孔構造の不均質性, 日本建築学会構造系論文集, Vol.509(1998.07)
- 103) 平石信也, 横山 清, 笠井芳夫:高強度高流動コンクリートの初期の乾燥による質量減少と自由伸縮に関する研究, 日本建築学会構造系論文集, Vol.511(1998.10)
- 104) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 逸見義男, 佐藤弘和:乾燥度試験紙によるコンクリートの含水状態の評価, 日本建築仕上学会論文報告集, Vol.5, No.1, pp.1-6(1998.03)
- 105) 柳 啓, 笠井芳夫, 加賀秀治, 阿部道彦:再生コンクリートの場所打ちコンクリート杭への適用性に関する一実験, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.20, No.2, pp.1111-1116 (1998.06)
- 106) 中田善久, 高野 肇, 毛見虎雄, 笠井芳夫, 松井 勇:粗骨材とモルタルの構成割合を変えた高流動コンクリートの性状に関する一考察, 日本建築学会技術報告集, Vol.6, pp.1-6(1998.10)
- 107) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 多田眞作, 大川原修:表層コンクリートの等温吸放湿特性・湿気伝導率, セメント・コンクリート論文集, Vol.52, pp.1042-1049(1998.12)
- 108) 川村政史, 笠井芳夫:セメントの代替としての高炉スラグ微粉末を用いたソイルセメントコンクリートの配(調)合・強度, 密度に関する実験研究, コンクリート工学論文集, Vol.10, No.1, pp.123-132(1999.01)
- 109) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇:構造体コンクリートの表層から内部にいたる強度分布, セメント・コンクリート, Vol.625, pp.44-52(1999.03)
- 110) 森濱和正, 笠井芳夫, 山口哲夫:超音波によるコンクリート版内の最速経路の予測と版厚測定に関する研究, 非破壊検査, Vol.48, No.5, pp.294-302(1999.05)
- 111) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇:ドリル削孔粉を用いたコンクリート中の塩化物イオン量の現場試験方法の提案, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.21, No.2, pp.1303-1308(1999.06)
- 112) 川村政史, 笠井芳夫:混和剤を用いたソイルセメントコンクリートの配(調)合・強度に関する実験研究, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.21, No.2, pp.187-192(1999.06)
- 113) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 鎌田英治:若材齢から乾燥を受けたコンクリートの耐凍結融解性, 日本建

経歴・発表論文

築学会構造系論文集, No.526, pp.9-16(1999.12)

- 114) 河合糺茲, 川村政史, 笠井芳夫: 竹筋ソイルセメントコンクリートの付着性状, 暴露試験および曲げ性状に関する実験研究, コンクリート工学論文集, Vol.11, No.2, pp.29-37(2000.05)
- 115) 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇, 国本正恵: コアを用いたコンクリートの単位水量試験方法の検討, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.22, No.1, pp.343-348(2000.06)
- 116) 国本正恵, 湯浅 昇, 笠井芳夫, 松井 勇: 小径コアを用いたコンクリートの圧縮強度試験法の検討, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.22, No.1, pp.427-432(2000.06)
- 117) 川村政史, 笠井芳夫: フライアッシュを混和剤として用いたソイルセメントコンクリートの圧縮強度および密度に関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.23, No.2, pp.121-126(2001.06)
- 118) 中田善久, 須藤絵美, 笠井芳夫, 毛見虎雄, 西山直洋: 高流動コンクリートを流動させた実大柱壁部材の品質と小径コアによる単位セメント量に関する一考察, 日本建築学会構造系論文集, No.615, pp.53-60(2007.05)

英文論文

- 1) Yoshio KASAI, Kiyoshi YOKOYAMA and Isamu MATSUI : Tensile Properties of Early-Age Concrete, Proceedings of the 1971 International Conference on Mechanical Behavior of Materials, Vol.4, pp.288-299(1972)
- 2) Yoshio KASAI, Isamu MATSUI : A Testing Method for Cement Content of Fresh Concrete -by Dissolving Cement in Hydrochloric Acid and Titrating with Sodium Hydroxide-, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.1, pp.39-46(1979)
- 3) Yoshio KASAI and Isamu MATSUI : Studies on Concrete Strength of Structures in Japan, RILEM Symposium. Quality Control of Concrete Structures, pp.89-95, Held in Stockholm Sweden(1979.08)
- 4) Yoshio KASAI : Recycling Waste Water and Cement Slurry Disposal at Ready-Mixed Concrete, Japan-US Scientific Seminar, pp.101-110, Held in Sun Francisco(1979.09)
- 5) Yoshio KASAI and Noboru NAKAMURA : Method of Accelerated Dry and Immersion in Seawater Test for Durability of Cement Mortars, Proceedings of the International Conference on the Performance of Concrete in Marin Environment, Held in Halifax Canada(1980.08)
- 6) Yoshio KASAI and Katsuya KONDO : Strength of Blended Cement with Granulated Blast Furnace Slag-Calcium Sulfate Hemihydrate-Slaked Lime, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.3, pp.17-24(1981.05)
- 7) Yoshio KASAI and Isamu MATSUI : Physical Properties of Polymer-Modified Mortars, Proceedings of the Third International Congress on Polymers in Concrete, Held in Koriyama Japan(1981.05)
- 8) Yoshio KASAI, Hirofumi TANAKA, Yoichi TOTANI and Katsuya KONDO : Strength Deterioration of Mortar Consisted of Granulate Blast Furnace Slag-Hemihydrate-Slaked Lime, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.4, pp.9-16(1982)
- 9) Yoshio KASAI, Yukinori FUKUSHIMA and Katsumi TOMINAGA : Production and Properties of Cemented Crushed Wood Chip Board Made of Used Timber, Transactions of the Japan Concrete Institute., Vol.4, pp.17-24(1982)
- 10) Yoshio KASAI: Isamu MATSUI and Kiyoshi YOKOYAMA : Shrinkage and Cracking of Concrete at Early Ages, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete at Early Ages, Vol.1, pp.45-50,Held in Paris France(1982.04)
- 11) Yoshio KASAI, Kiyoshi YOKOYAMA and Isamu MATSUI : Volume Change of Concrete at Early Ages, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete at Early Ages, Vol.1, pp.51-56, Held in Paris France(1982.04)
- 12) Y. KASAI : Compressive Strength of Concrete Stripped at Very Early Ages, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete at Early Ages, Vol.1,pp.91-96, Held in Paris France(1982.04)
- 13) Y. KASAI : Method of Estimation for Compressive Strength of Concrete at Early Ages, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete of Early Ages, Vol.1, pp.157-162, Held in Paris

- France(1982.04)
- 14) Y. KASAI : Early Compressive Strength of Concrete Containing Chemical Admixture, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete at Early Ages, Vol.2, pp.269-271, Held in Paris France(1982.04)
 - 15) Y.KASAI : Recommendation for Slip-from Concrete of the Architectural Institute of Japan, Proceedings of RILEM International Conference at Early Ages, Vol. 2 , pp. 273-278, Held in Paris France(1982.04)
 - 16) Y.KASAI : Erosion of Early Stripped Concrete in Running Water, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete at Early Ages, Vol.2, pp.279-281, Held in Paris France(1982.04)
 - 17) Y. KASAI : Infiltration of Chloride into Concrete Immersed into Sea Water, Proceedings of RILEM International Conference on Concrete at Early Ages, Vol.2, pp.283-286, Held in Paris France(1982.04)
 - 18) Yoshio KASAI, Yukinori FUKUSHIMA and Katsumi TOMINAGA : Properties of Cemented Crushed Wood Chip Board Reinforced with Excelsior, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.5, pp.1-8(1983.06)
 - 19) Yoshio KASAI, Isamu MATSUI and Hiroyuki KAMOHARA : Method of Rapid Test for Air Permeability of Structural Concrete, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.5, pp.97-104(1983.06)
 - 20) Yoshio KASAI and N. AKIYAMA : Stripping Demolition of Concrete by Applying Electric Current through Reinforcing Bars, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.5, pp.69-76(1983.06)
 - 21) Yoshio KASAI, Isamu MATSUI and Motoji NAGANO : Relationship Between Carbonation Depth and Air Permeability of Concrete, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.6, pp.171-178(1984.06)
 - 22) Yoshio KASAI : Utilization of Fly-ash and Granulated Blast Furnace Slag to Autoclaved Light Weight Cellular Concrete, Beijing International Symposium on Cement and Concrete, pp.203-204, Held in Beijing China(1985.05)
 - 23) Yoshio KASAI, Isamu MATSUI, Motoji NAGANO and Hideo KASAMI : Autoclave Curing of Various Kinds of Fly Ash-Ordinary Portland Cement-Water Composition, Transactions of Japan Concrete Institute, Vol.7, pp.9-16(1985.06)
 - 24) Yoshio KASAI : Demolition of Reinforced Concrete by Heating Reinforcing Bars with Electric Power, Demolition-Recycling 1, Proceedings of the EDA/RILEM Conference, Demolition Techniques, Held in Amsterdam the Netherland(1985.06)
 - 25) Yoshio KASAI : Microwave Demolition of Concrete in Japan, Demolition-Recycling 1, Proceedings of the EDA/RILEM Conference Demolition Techniques, Held in Amsterdam the Netherland(1985.06)
 - 26) Yoshio KASAI : Studies into the Reuse of Demolished Concrete in Japan, Proceedings of the Demolition-Recycling 2 EDA/RILEM Conference, Reuse of Concrete and Brick Materials, Held in Amsterdam the Netherland(1985.06)
 - 27) Yoshio KASAI, K. NAKAGAWA, S. NISHITA and T. SUGAWARA : Stripping Demolition of Shield Wall in Nuclear Power Plant by Applying Electric Current Through Reinforcing Bars, Transac-

- tions of the Japan Concrete Institute, Vol.7, pp.97-104(1985.06)
- 28) Yoshio KASAI, Motoji NAGANO, K. SATO and K. SUGA : Study on the Evaluation of Surface Concrete Quality, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.7(1985.06)
 - 29) Y.KASAI, E.ROSSEAU and P.LINSELL : Evaluation of Main Demolition Methods, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry Vol.1, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 30) Y.KASAI, M.NAKAGAWA, K.NISHITA and T.SUGAWARA : Stripping Demolition of Semi-circular RC Wall by Applying Electric Current through Reinforcing Bars, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry Vol.1, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 31) Y.KASAI, A.YANAGI, M.NAKAGAWA and M.NISAKA : Demolition Work for Opening of Diaphragm-wall Shaft by Applying Electric Current through Reinforcing Bars, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry Vol.1, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 32) Y.KASAI, A.YANAGI, M.KAGAWA and M.HISAKA : Effect of Impurities in Recycled Coarse Aggregate Upon a New Properties of the Concrete Produced with It, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry, Vol.2, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 33) Y.KASAI, M.HISAKA and K.YANAGI : Durability of Concrete Using Recycled Coarse Aggregate. Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry Vol.2, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 34) N. TOSAKA, Y. KASAI and T. MONMA : Computer Simulation for Felling Patterns of Building, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry Vol.1, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 35) M. KAGA , K. TAKEDA, Y. KASAI and T. KEN : Properties of Recycled Aggregate, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry, Held in Tokyo Japan(1988.11)
 - 36) T. SOSHIOBA, S. KUBOTA, T. IKEDA and Y. KASAI : Strength and Elastic Modulus of Recycled Aggregate Concrete, Second International RILEM Symposium on Demolition and Reuse of Concrete and Masonry(1988.11)
 - 37) Y. KASAI and T. FUJII : Demolition and Reuse of Concrete and Masonry, Concrete International Design and Construction, Vol.11, No.3, pp.24-28, ACI(1989.01)
 - 38) Y. KASAI : Demolition of Concrete Structures by Heating Concrete, International Design and Construction, Vol.11, No.3, pp.33-38, ACI(1989.01)
 - 39) Yoshio KASAI, Shin TERAUCHI and Hiroki WAMI : Experimental Study on Heat-resisting Cement Using Granulated Blast Furnace Slag and Portland Cement, Vol.2, pp.305-310, Held in Beijing China(1988.07)
 - 40) Y.KASAI, T.AOKI, S.TADA and M.SATO : Effect of Trace Element on the Development in Strength of Fly Ash Substituted Cement Paste, 3rd CANMET/ACI International Conference on Fly Ash, Silica Fume, Slag and Natural Pozzolan in Concrete, Supplementary Papers, pp.879-891

- 41) Y.KASAI : Testing Methods of Cement and Water Concrete in Fresh Concretes and the Estimation of 28 Days Strength at Early Age, Proceedings of the RILEM International Workshop, Testing During Concrete Construction, Held in Darmstat Germany, pp.58-81(1990.03)
- 42) W.NAKAGAWA, K.NISHITA and Yoshio KASAI : Stripping Demolition of Reinforced Concrete by Electric Heating Method, The 2nd ASME / JSME International Conference on Nuclear Engineering, "Nuclear Power in the Environment of the 1990s and Beyond"(1993.03)
- 43) Yoshio KASAI and Kunihiro HIRAI : Disaster Rescue and Restriction Countermeasures in Japan, RILEM Report Disaster Planning, Structural Assessment, Demolition and Recycling, E & FNNSPON, pp.11-50(1994)
- 44) N. YUASA, Y. KASAI and I. MATSUI : Method of Measuring Moisture Content in Concrete with Small Stainless Electrodes, CANMET/ACI/JCI, Forth International Conference on Recent Advances on Concrete Technology, pp.499-516, Held in Tokushima Japan(1998.06)
- 45) N. YUASA, Y. KASAI and I.MATSUI : Inhomogeneous Distribution of Moisture Content and Porosity in Concrete, Creating with Concrete, Concrete Durability and Repair Technology, pp.93-101(1999.09)
- 46) N. YUASA, Y. KASAI and I. MATSUI : Inhomogeneous Distribution of Compressive Strength From the Surface Layer to Internal Parts of Concrete in Structures, CANMET/ACI/JCI, Fifth International Conference on Durability of Concrete, pp.269-281, Held in Tokushima Japan(2000.06)
- 47) N. YUASA, Y. KASAI, I. MATSUI and E. KAMEDA : Freeze-Thaw Resistance of Concretes Subjected to Drying at Early Ages, Challenges of Concrete Construction, Concrete Technology Unit, University of Dundee, Concrete for Extreme Conditions, pp.437-446(2002.09)
- 48) Y. KASAI : Recent Trends in Recycling of Concrete Waste and Use of Recycled Aggregate Concrete, Recycling Concrete and Other Materials for Sustainable Development, American Concrete Institute, SP-219, pp.11-34, Presented at the ACI Spring Convention, in Vancouver Canada(2004.04)

笠井芳夫の生きざま

あれもこれも

2010年2月21日 発行

編著者／発行人 笠井 芳夫

〒274-0823 船橋市二宮2-6-10

電話（FAX）047-467-1717